



Info Mart

インフォ・マート

〔自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ〕 04-2998-7777 | <http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol. 99

所沢ミュージズの25年間に彩った アーティスト



1993 - 2018

所沢ミュージズ休館前のスペシャル公演ステージレポート

パーヴォ・ヤルヴィ [芸術監督/指揮]
ドイツ・カンマーフィルハーモニー
管弦楽団

曲目/モーツァルト:
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
ハイドン:交響曲第101番「時計」
シューベルト:交響曲第8番
「ザ・グレート」

12/9
日



ディズニー・オン・クラシック
まほうの夜の音楽会 2018
Find Your Hero
～そして君のもとへ

曲目/「ヘラクレス」ほか

12/8
土



よしもと冬のお笑いまつり
in 所沢 2018

出演/宮川大助・花子、トータルテンボス、とろサーモン
ウーマンラッシュアワー、銀シャリ、パンサー、ゆにばーす
ゆりやんレトリィバァ、ひよっこりはん

アークホール

12/4
火



2018 ゴーラシアンフィルハーモニー
管弦楽団 ミューズ・スペシャル

曲目/アルビレオの誘惑、格言プラス
窓辺のシンフォニア ほか

アークホール

11/23
金祝



セキスイハイム presents
アシュケナージ×辻井伸行

アシュケナージ指揮 アイスランド交響楽団 ピアノ:辻井伸行
曲目/ショパン:ピアノ協奏曲第2番
シベリウス:交響曲第2番、カレリア組曲

アークホール

11/17
土



所沢ミュージズ休館前の最後の公演。世界中で絶賛を浴びるヤルヴィ&ドイツ・カンマーフィルの名コンビが最終公演に相応しい白熱の名演奏を繰り広げました。藤本正人所沢市長も会場に駆けつけ、開演前にヤルヴィを表敬訪問。終演後にはミュージズメンバーの皆様が指揮者と楽団員を囲み、お別れパーティーを開催。マエストロ・ヤルヴィから、ホールリニューアル後に再登場を約束するメッセージも飛び出し、会場は拍手と歓声に包まれました!



休館前最後を飾るにふさわしい世界最高峰の名演奏



藤本正人所沢市長がヤルヴィを表敬訪問



終演後、ヤルヴィを囲んでお別れパーティー
所沢ミュージズでの再会を誓いました!

ミッキーマウスのスクリーンデビュー 90周年を記念した『蒸気船ウィリー』の生オーケストラ演奏という、コンサートでしか聴けない貴重な演出をはじめとして、ディズニー音楽の巨匠アラン・メンケンによる名曲特集、さらには映画『ヘラクレス』全編の楽曲など、豪華なアーティストによる圧倒的なパフォーマンスに大いに盛り上がり、最後は会場中が総立ちとなりました。そして、2002年よりこの「ディズニー・オン・クラシック」の指揮・編曲を務めてきたブラッド・ケリーの勇退が発表され、最後の演奏を惜しむ温かい拍手が贈られました。



今季限りでの勇退を発表した指揮者ブラッド・ケリー



ニューヨークでのオーディションで選ばれた豪華アーティストたち



会場中が総立ちになったクライマックス

テレビでおなじみの人気芸人が所沢ミュージズに大集合! 大ブレイク中のひよっこりはん、ゆりやんレトリィバァ、実力派芸人トータルテンボス、とろサーモン、ウーマンラッシュアワー、銀シャリ、パンサー、ゆにばーす、大ベテランの宮川大助・花子らによる渾身のネタの数々が披露され、客席は爆笑の連続、笑いの渦に包まれました。



大ブレイク中!
ゆりやんレトリィバァ



大ベテラン宮川大助・花子の
珠玉の漫才



実力派の話芸!
ウーマンラッシュアワー



ひよっこりはんがひよっこり!



大トリ・トータル
テンボスの爆笑漫才



若者にも大人気!
パンサーの爆笑コント

オーケストラの迫力あるサウンド、パイプオルガンの荘厳な響き、動物さんたちの楽しくコミカルな掛け合いに会場は大盛り上がり。恒例の「動物紅白歌合戦」では、話題の「U.S.A.」も飛び出し、本家に負けじと動物さんたちが華麗(?)なダンスを披露! フィナーレでは華やかなキャノン砲が打ち上げられ、大きな歓声が上がりました。

終演後は、ロビーで動物さんたちがファンの皆さんをお見送り! 会場は最初から最後まで熱気に包まれました。



コンサートのフィナーレを飾る華やかなキャノン砲



終演後のロビーで
動物さんとファンが交流



大盛り上がりの「動物紅白歌合戦」

1962年のチャイコフスキー・コンクール優勝以来、半世紀にわたりピアニスト・指揮者として活躍する伝説の巨匠アシュケナージと、日本のみならず世界でも高い評価を獲得している人気ピアニスト辻井伸行の夢の共演が実現!

ピアノを知り尽くした巨匠のサポートで、辻井のピュアな音楽性が見事に引き出され、流麗で美しいショパンの名演奏が繰り広げられました。後半は、今回初来日となるアイスランド響が透明感溢れる壮大なシベリウスを披露し、満員の客席から喝采を浴びました。



流麗で美しい辻井伸行のショパン



巨匠アシュケナージの万全のサポートによる名演奏



初来日のアイスランド交響楽団の透明感溢れるシベリウス

2020年 新生・所沢ミュージズで
お会いしましょう!

ステージレポート

Stage Report

10月5日
~12月9日

2018

- 10/5 (金) ■ “お昼どき” パイプオルガン500円コンサート
(アークホール) オルガン/ 富田一樹
- 6 (土) ■ 演劇集団キャラメルボックス
「ながれぼしのきもち」
(マーキーホール)
- 8 (月) ■ 東響プレミアム・コンサート
『ロシア音楽の真髄』
(アークホール)
出演/ アンドレイ・フェーヘル (指揮)
神尾真由子 (ヴァイオリン)
東京交響楽団
- 
- ロシア音楽の真髄
- 12 (金) ■ J.S. バッハ《音楽の捧げもの》
(キューブホール)
出演/ 寺神戸亮 (ヴァイオリン)、前田りり子 (フルート)
上村かおり (ヴィオラ・ダ・ガンバ)
曾根麻矢子 (チェンバロ)
- 13 (土) ■ 宮田大
無伴奏チェロ・リサイタル
(アークホール)
- 
- 宮田大
- 21 (日) ■ オルガン特別講座
～オルガンの歴史、時代・楽器・作品～
(キューブホール) 講師/ 松居直美、梅千野安未
- 27 (土) ■ 第100回 所沢寄席
「ミューズ特選名人会～輝き～」
(マーキーホール)
出演/ 一龍斎貞寿 (講談)、柳家わさび
春風亭昇々、桂宮治 ほか
- 
- 所沢寄席
- 第100回 所沢寄席
「ミューズ特選名人会～極み～」
(マーキーホール)
出演/ 柳家さん喬、三遊亭円楽
笑福亭松喬、桂文治
立花家橋之助 (浮世節) ほか
- 
- ジュリアード弦楽四重奏団
- 27 (土) ■ 所沢市民フェスティバル
28 (日) ■ レッツ☆ゴー!! ミューズ横丁
(情報市場)
- 28 (日) ■ ジュリアード弦楽四重奏団
(アークホール)
- 悠久の響き 声明の世界
(マーキーホール)
- 
- 声明の世界
- 11/3 (土) ■ ホールオルガニスト梅千野安未プレゼンツ
生誕333年 J.S. バッハの散歩道
(アークホール) ゲスト/ 岡本誠司 (ヴァイオリン)
- 4 (日) ■ 佐藤俊介 J.S. バッハ無伴奏ヴァイオリン
(キューブホール)
- 10 (土) ■ WEEKEND
PIANO SERIES 2018
ファジル・サイ [ピアノ]
(アークホール)
- 
- ファジル・サイ
- 16 (金) ■ 所沢ミューズ・オペラ・ガラ・コンサート
(アークホール)
- 17 (土) ■ セクスイハイム presents アシュケナージ×辻井伸行
アシュケナージ指揮 アイスランド交響楽団
ピアノ: 辻井伸行
(アークホール)
- NBAバレエ団『くるみ割り人形』
(マーキーホール)
- ムラマツフルート×所沢ミューズ
18 (日) ■ 初心者のためのフルートはじめて講座
(第2練習室)
- 19 (月) ■ 平成30年度優秀映画鑑賞推進事業
20 (火) ■ MUSE名画シアター
(マーキーホール)
- 23 (金) ■ 2018 ブーラシアンフィルハーモニー管弦楽団
ミューズ・スペシャル
(アークホール)
- 24 (土) ■ 三浦一馬
キンテート 2018
(マーキーホール)
- 
- 三浦一馬
- 25 (日) ■ XK徒 イリュージョニスト慶
スーパーイリュージョンショー
(松井まちづくりセンター)
- 30 (金) ■ 平成30年度所沢ミューズ
パイプオルガンスクール生徒発表会
(アークホール)
- 12/1 (土) ■ 東京交響楽団メンバーによる弦楽四重奏
(新所沢東まちづくりセンター)
- 4 (火) ■ よしもと冬のお笑いまつり in 所沢 2018
(アークホール)
- 5 (水) ■ フォレスタ
コンサート in 所沢
(アークホール)
- 
- フォレスタ
- 7 (金) ■ 稲垣潤一
コンサート 2018
(マーキーホール)
- 
- 稲垣潤一
- 8 (土) ■ ディズニー・オン・
クラシック
まほうの夜の音楽会
2018 Find Your Hero
～そして君のもとへ
(アークホール)
- 9 (日) ■ パーヴォ・ヤルヴィ [芸術監督/指揮]
ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団
(アークホール)

写真撮影(市民カメラマン)/ 滝島利男(10/8、11/17、12/9)、津田資雄(10/13、28マーキー、11/24、12/8)、三平資郎(10/27、12/4)、由井一雄(10/28アーク、12/5、7)、佐藤清一郎(11/10、23)

所沢ミューズは、施設の経年劣化などに対応する改修工事のため
2018年12月10日～2020年3月31日まで休館いたします。
バリアフリー化、天井補強などにより安全で使いやすい施設に生まれ変わります。

次回のインフォ・マートは3月10日発行予定です。どうぞお楽しみに。

金山茂人

ミュージックアドバイザー
公益財団法人
東京交響楽団最高顧問
公益社団法人
日本演奏連盟専務理事

音楽外野席

最終回

所

沢ミュージックが創立から25年を経過するにあたり昨年の12月10日より1年4ヶ月かけて全館休館して改修を行っている。これはまさに画期的な事であり改修後は見違えるようなホールになることを願うのは僕だけではない。例えば25年前オープンした記念コンサートは式典に続き松居直美氏が奏でるパイプオルガンが優雅に響き、ついで大町陽一郎指揮、東京交響楽団によるワーグナーのマイスタージンガー前奏曲が流れた。当時の斎藤市長以下、所沢市の関係者が見守る中、めでたくオープンコンサートが終了した。あれから25年、所沢ミュージックは今や押しも押されぬ日本を代表するホールの一つとして高く評価され、世界的な一流アーティストから絶賛されている。

事

業内容もコンサートホールとして評価されながらクラシックのみに留まらず落語から演劇、ポピュラー音楽にいたる幅広い分野にわたり市民から愛されている。その他、大きな特色の一つにパイプオルガンを備えたことがある。恐らく現在でも埼玉県で1000人以上入るホールでパイプオルガンが設置されているホールは他にあるだろうか。この「パイプオルガ

ン」という楽器は莫大な費用とその後のメンテナンスが重要であり大変厄介な楽器である。この楽器を我がホールにもと決心した当時の市長は度胸と素晴らしいセンスの持ち主だったに違いない。また一般にパイプオルガンという楽器はかなりのクラシック通でも馴染みが薄い。このややこしい楽器を今身近にしたのはオルガニストであり僕と一緒に所沢ミュージックのアドバイザーを務めた松居直美氏の存在が大きい。世界的なオルガン奏者のリサイタルやオルガンスクール、その他500円コンサートを年3回開催し一日2回公演で1回目は赤ちゃんを連れて来ても大丈夫にしたために大変な評判を呼んだ。これだけではなく夏休みになると毎年オルガン探検と称してこの楽器の裏側まで開放してオルガンを普及することに積極的だ。その結果、近寄り難い存在だったこの楽器はいろんな試みをする事によって次第に親しみを持たれた。所沢ミュージックには大、中、小の3つのホールがあり収容人数はそれぞれ、2002人、798人、342人、その他展示室等もあり出し物によって使い分けられている。大ホールは主にクラシックの殿堂的な扱いで内

外の一流アーティストを招聘しており、中ホールはクラシックもやるが落語、ポピュラー音楽、演劇に始まり狂言、能等々幅が広く、小ホールは主にリサイタルとして使用している。

二

ユニーヤール・コンサートを担当していたピアノニスト中村絃子さんは親しみある大スターとして市民から崇められていたが、残念ながら2年前72歳で亡くなられた。このシリーズに所沢ミュージックで最初に登場して頂いたのが1995年です。それから2015年まで20年以上にわたり出演して下さった。いつも満員でお正月に相応しく中村絃子さんらしい華やかな雰囲気漂ったのだが、その後の後任としてやはり日本を代表するピアノニストである小山実稚恵さんが引き受けて下さっている。小山実稚恵さんは中村絃子さんとは無論タイプは違うがこの方も素晴らしい演奏でお正月を華やかに東京交響楽団と共に雰囲気を出している。

所

沢ミュージックの主催公演ではないが、同じく所沢市が全面的に援助し今日まで36回目を迎えている「所沢で第九を」というタイトルの「第九」公演がある。これは指揮者、ソリスト以外はオーケストラもスタッフも全

創立25年の重み

員アマチュアであるが、とても素人とは思えない立派な演奏を市民に提供し欲ばれている。無料公演とはいえ毎年満員の盛況だ。僕はたまたまこの会の実行委員長を仰せつかっているがスタッフの熱意にいつもコンサート毎に感動する。この立場を引き受けて10年近いが出来るだけ毎月の委員会に出席してプロのオーケストラと違った「第九」の雰囲気浸っている。昨年の本番は12月2日だったが所沢ミュージックが改修している間休演するのかと思っていたら市内の体育館で出来ないものかと検討しているという。この情熱がすごい。

こ

の度僕のアドバイザー任期も今回の改修を機に終了となる。人間始まりがあればいつの日か終わりが来るのだ。これまでの25年という歲月、お世話になった皆様に感謝しつつ、2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催される年の4月に新装なった所沢ミュージックのその後の発展を祈らずにはおれない。

Kanayama Shigeto

富山県出身。国立音楽大学卒業。1963年、東京交響楽団入団、第1ヴァイオリンとして13年活躍。1976年、同楽団代表代行に就任。以後、代表を経て2005年まで専務理事・楽団長に就任、クラシック音楽業界の荒波を渡ってきた。1994年よりミュージックアドバイザーに就任。現在、東京交響楽団評議員長・最高顧問、日本演奏連盟専務理事ほか、数多くの要職を務める。新日鉄音楽賞特別賞(2008年)、埼玉文化賞(2013年)受賞など音楽界への貢献が高く評価されている。



パイプオルガン 歳時記

松居 直美

オルガニスト / ミューズ音楽アドバイザー

最終回



新しいページ

初 めて所沢ミューズを訪れたのは、まだ開館前の1992年、仮設準備室に工事関係者が慌ただしく出入りしている頃だった。全体の姿を想像することはできなかったが、プレハブの事務所は新しいものが出来るという活気に溢れていた。そして翌1993年、駅からの広々とした歩道を進むと広大な航空公園の緑を背景にゆったりと配置された3つのホールがそのモダンな姿を現すという、夢と期待を演出した首都圏有数の文化施設が誕生した。一番大きなアークホールはむろん、国内最大級のパイプオルガンがその正面を飾る。この1993年とはどういう年だったか。皇太子徳仁親王が小和田雅子さんと結婚なさった年であり、ジュリアナ東京に若者が集まって踊った年である。バブルが崩壊を始めていたとされるが、記憶の中の1993年は明るい。所沢ミューズが誕生したのはそんな年である。そして演奏連盟専務理事、金山茂人氏と2人、所沢ミューズアドバイザーとして関わるようになった。それから25年。所沢ミューズは大規模修繕のために2018年12月から一時閉館をする。そしてこの節目にアドバイザー制度は終了し、役目を終える。この連載もこれが最後となるが、何を書こうか思案している時に過去の公演一覧を事務所から頂いた。それを眺めてみて、改めてこんなオルガニストが所沢ミューズで演奏したのだと記憶が甦ってきた。特に海外オルガニストによるリサイタルには、20世紀を代表するトップ・オルガニストが名前を連ねている。最初に弾いてくださったのはM. ラドゥレスク氏であった。以後、L. ローマン、P. パンスマイユ、マリー＝C. アラン、Z. サットマリー、M. シャピユイ、A. マルコン、D. ロート、M. ブヴァール、W. ツェラー、T. コープマン、B. フォルクレル、T. エスケッシュ、A. ガスト、F. エスピナス、B. ハース、H-O. エリクソン（敬称略、順不同）など、すでに故人となられた方もいるが、20世紀後半の世界のオルガン界の歴史そのものだ。彼らの音楽と演奏に向き合う姿と、それぞれの個性で所沢ミューズ

の大オルガンの多彩な魅力を引き出す様を目の当たりにしたことは、私にとって得難い至福の時間であった。最初のリサイタルに登場されたM. ラドゥレスク氏は、15年を経て再演してくださったが、その間のオルガンのメンテナンスの成果を喜んでくださり、今でもお目にかかる話題にされる。レクチャーコンサートに登場された磯山雅先生は昨年、不慮の事故で逝去されたが、得意の磯山節をいかに発揮されていたお元気な姿が思い出される。

オ ルガンという楽器は動かない。持ち歩くことができない。ゆえに公の性格が強く、周りに人を集める楽器である。長い歴史の中で社会の変化に応じて変容しつつ、その魅力を失うことはなかった。コンサートを作る人も聴く人も、弾きたい人も教える人も、この長い長い時間を生きてきた楽器に映し出され、各人にとっての「オルガン」を発見する。私自身にとってのこの25年もそういう時間だった。出会い、お世話になった方々、経験させて頂いた多くの事柄に心から感謝したい。奇しくも今年も新天皇の時代が始まるが、25年とは、生まれた子供が独立して、社会で活躍するようになる時間である。所沢ミューズは一時閉館するが、終わりは始まり。25年の歴史の上に次に開かれる夫々の新しいページは更に豊かなものになると確信している。



Matsui Naomi

国立音楽大学、同大学院、ドイツ国立フライブルク音楽大学卒業。在学中にブダペストとニュルンベルクの2つの国際オルガンコンクールで優勝し世界の注目をあつめる。繊細で美しい響きとダイナミックな音楽づくりに定評があり、リサイタルやベルリン・フィルなど一流オーケストラとの共演、またコンサートのプロデュースなど幅広く活躍。テレビやラジオなどへの出演も多く、聖徳大学音楽学部教授としてオルガンの指導もしている。所沢ミューズでは、コンサートでの演奏のほかに、アドバイザー、オルガンスクール上級クラス講師も務める。埼玉県音楽文化の向上に貢献した音楽家に贈られる平成26年度「下総院一音楽賞」を受賞。（一社）日本オルガニスト協会会長。

1993年の所沢ミューズの開館より、25年にわたりアドバイザーとして多大なご尽力をいただきました金山茂人氏、松居直美氏が、所沢ミューズの長期休館を機にアドバイザーをご退任されることになりました。お二人の所沢ミューズに対する多大なる貢献に改めて感謝を申し上げます。

金山茂人氏の『音楽外野席』、松居直美氏の『パイプオルガン歳時記』は今回の連載が最終回となります。

ご愛読ありがとうございました。